

親子の学び応援講座



〈目的〉 本県における家庭教育の推進に向けて、会津若松市立第六中学校PTAを対象に講座を行い、親子の学び・家庭での実践活動を支援する。

会津若松市立第六中学校PTAにおける講座の様子

- ◆とき 令和3年7月13日（火）
- ◆ところ 会津若松市立第六中学校 体育館
- ◆参加者 110名（生徒、保護者、教職員）
- ◆講演 演題：スマホ・ネットと上手につきあうために
講師：会津大学短期大学部 産業情報学科
教授 中澤 真 氏

1＜テーマ設定の理由及び実践活動のねらい＞

- (1) ネット依存の危険性やネット上に氾濫するウソの情報、有害情報から身を守るための素養を身に付ける。
- (2) 情報を発信する側になった場合、個人情報の漏洩やネットの向こう側にいる姿の見えない相手とのコミュニケーションをする場合の危険性を理解できるようにする。

2＜要 点＞

- (1) ネット依存にならないようにするために
 - 使用時間のルールを決める
 - リビングでスマホ、ゲーム機を使う
 - スマホの通知機能はオフにする
 - 使用時間を守ったら○×で記録する
 - 自分でやめられないときは、家の人にゲーム機などをあずける
 - 親にもルールを守ってもらう
- (2) インターネットで発信してはダメな情報
 - 個人情報を悪用されると犯罪やトラブルのもとになる
 - 写真には行動パターンを示す情報が盛りだくさん
 - インターネットで発信できる情報は、玄関に張り紙をしても大丈夫なものだけ
 - 他人の個人情報とプライバシーをSNSに公開しない
- (3) LINE や SNS の危ない使い方
 - インターネットの向こう側の人にはウソをついているかもしれない
 - インターネット上で知り合った人を簡単に信用しない
 - インターネット上のやりとりは、トラブルになりやすい
(気持ちをうまく伝える工夫を！)
- (4) 子どもを守るための基本手段
 - スマホのフィルタリングサービスの利用
 - ゲーム機の機能制限を

参加者の感想から

- ぼくは今スマホを持っていないけれど、だんだん持つと思うので、講演で学んだ注意点が役立つと思う。特にLINEでは、「～じゃない」は「～でない」と「～じゃないか」とどっちの意味にもとれるので、相手に分かるようにすることが大切ということが印象に残っている。(1年男子)
- スマホ依存にならないように気をつけたい。私は家のルールで1日1時間30分と決まっているが、3時間もネットを見ているときがあった。(1年女子)
- 自分が思うネットの使い方と今回の講演で教授がおっしゃたことが違っていたので、自分自身間違っていて理解していたんだと気づくことができた。(2年女子)
- ときどき自分でも悪いと思いつつ、やってしまっているなど、アンケートに答えてドキッとした。これからは、今まで以上にスマホの使い方には気をつけたい。(3年女子)
- 子どもたちは、言葉はよく知っていても、具体的にどんなことを指すのか分からないでいたが、クイズ形式もあり、分かりやすかった。自分は大丈夫と思っていたことも危険なんだなと知ることができた。これを機に家でも話し合いたい。(保護者・女性)

